



2021年2月12日

各 位

会 社 名 リリカラ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山 田 俊 之
(コード番号9827)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 執行役員総務本部長 今 福 宏
電 話 03-3366-7845

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、2021年12月期から2023年12月期までの中期経営計画「DaaS (Design as a Service)」を策定いたしましたので、お知らせします。

1. 中期経営計画の位置づけ

当社は2030年におけるSDGsの目標の達成に事業面にて寄与するために、積極的に活動してゆくことと致しました。

本中期経営計画は、当初3年間(2021~2023年)における取組施策をまとめたものであります。

2. 前中期経営計画「LY-START」の振り返り

当社は、2018年2月9日付で、中期経営計画「LY-START」の内容を公表いたしました。当該計画は、2018年度から2020年度の3ヵ年計画として、最終年度の2020年12月期には売上高38,500百万円、営業利益530百万円を見込んでおりました。

結果として、計画2年目終了時点(2019年12月期)で営業利益は660百万円となり、3年目の数値目標を前倒しで達成致しました。しかしながら、最終年度の2020年12月期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、全社の営業利益は88百万円となり、インテリア事業の営業利益は57百万円、スペースソリューション事業の営業利益は30百万円と、ともに未達に終わりました。

セグメント別の経緯は以下のとおりであります。

① インテリア事業

商品見本帳について、主に内容の充実やアイテム数の増強に努めた結果、小口案件の取り込みが進捗致しました。また、2018年9月に実施した壁紙・カーテンの販売価格改定も寄与し、2019年12月期の営業利益は564百万円となり、2020年12月期の目標260百万円を大きく上回りました。

② スペースソリューション事業

建設スペシャリストの採用を図り、ホテル改修工事案件を中心としたリノベーション案件が順調に伸張致しました。オフィス環境分野においては、顧客数の増加において計画を下回りました。一部に不採算の案件があったことも影響し、2019年12月期の営業利益は96百万円となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の時点でも計画値を下回る結果となりました。

3. 新中期経営計画「DaaS」策定の事業環境

2021年~2023年にかけての日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の終息時期について、現時点に

おいてははっきりとした予想を立てづらい状況にあります。当計画においては、期中に感染拡大に一応の終息が見られることを前提と致しております。

一方、感染終息後も様々な変化がもたらされ、需要の一部は感染拡大前の水準に戻らないものと思われま
す。半面、デジタル技術の社会への浸透や、新しい生活様式の定着につれて、新たなビジネスチャンスも発
生しております。

当社は、本中期経営計画に基き、新たなビジネスチャンスの取り込みと、事業構造の変革に取り組んで参
ります。

4. 中期経営計画の基本方針

- ・ E S G への積極的な取り組みによるガバナンスの強化とダイバーシティの推進

5. 中期経営計画の基本戦略

(1) 事業構造の変革

- ・ 業績目標指標の改定による行動変容の促進
- ・ デジタル技術を活用した業務効率化の推進

(2) 新たなビジネスチャンスの取り込み

- ・ E コマースや、デジタル技術を活用したソリューションビジネスの創出
- ・ オフィスにおける新たな働き方を提案するために、 I C T を活用した新商品・新サービスをアライ
アンスにより導入
- ・ 共創マーケティングによる商品開発の推進
- ・ デザイン提案・不動産情報の提供・建物のバリューアップの提案など、付加価値提供の強化

6. 経営目標値

(単位：百万円)

2023年12月期	インテリア事業	スペースソリューション 事業	全社
売上総利益	9,300	1,300	10,600
営業利益	1,230	170	1,400
R O E			11.0%

以 上

リリカラ株式会社中期経営計画 (2021-2023)



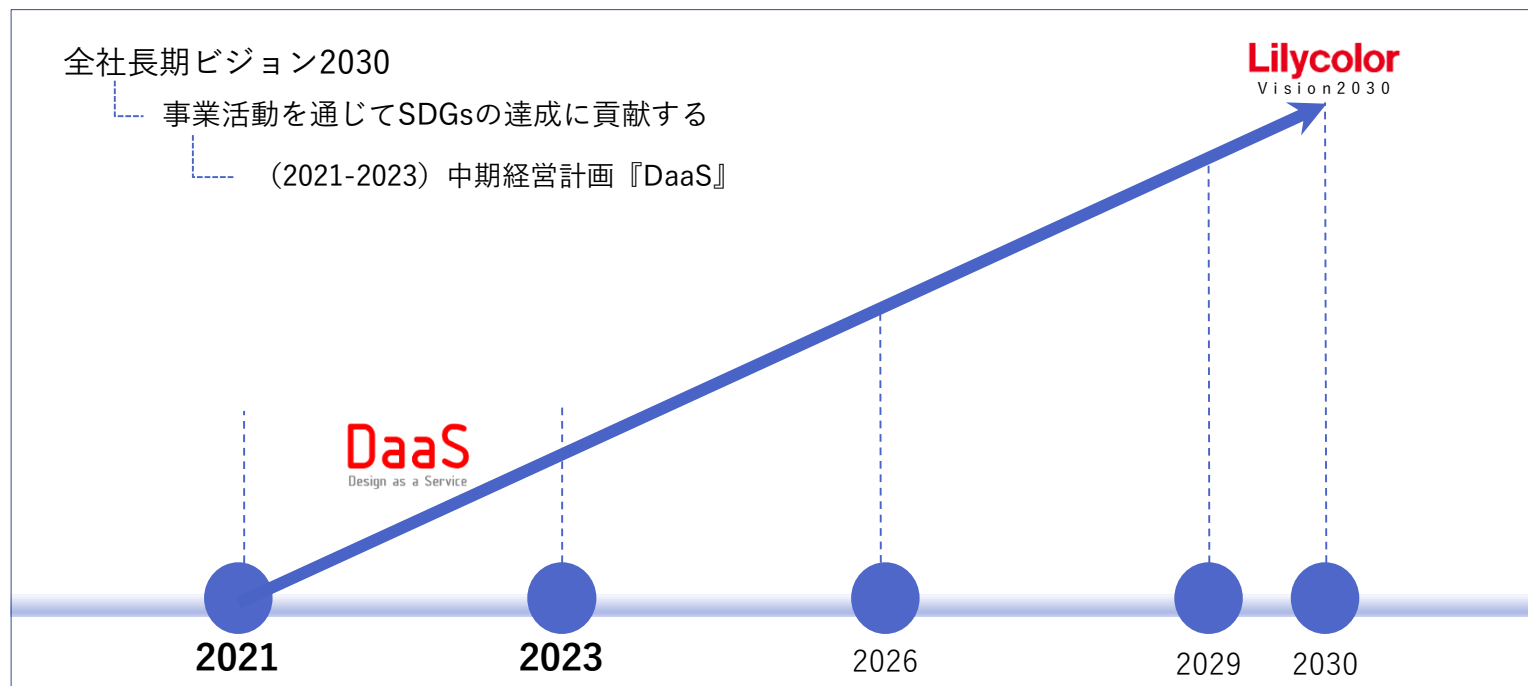
Lilycolor

当社は、2021年12月期から2023年12月期までの中期経営計画「DaaS（Design as a Service）」を策定いたしましたので、お知らせします。

当社は2030年におけるSDGsの目標の達成に事業面にて寄与するために積極的に活動してゆくことと致しました。本中期経営計画は、当初3年間（2021年 - 2023年）における取組施策をまとめたものであります。

2021年2月吉日

リリカラ株式会社
代表取締役社長 山田俊之



2018-2020中期経営計画『LY-START』 経営目標：売上385億円／営業利益5.3億円

- LY-STARTの結果は、当計画2年目（2019年12月期）にて、営業利益6.6億円*を達成致しました。
*3年目の営業利益目標を前倒しで達成
- 最終年度（2020年12月期）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、売上高および営業利益ともに未達で終わりました。

事業セグメント別分析サマリー

①インテリア事業

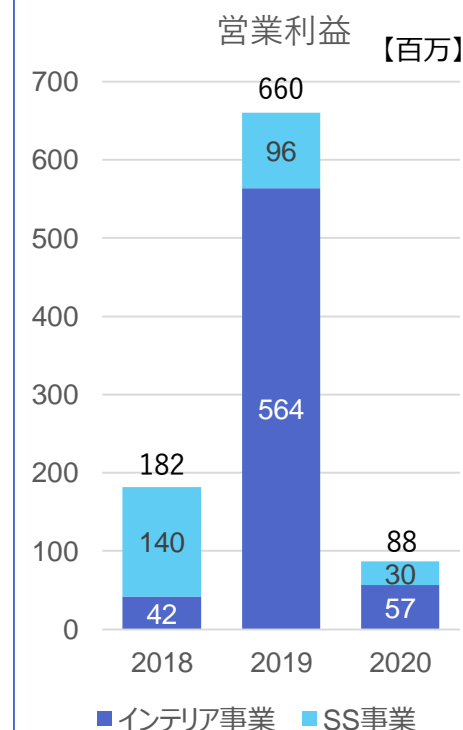
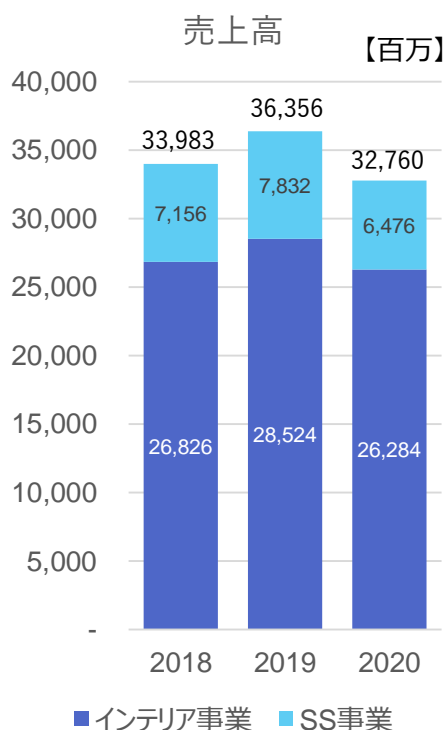
2019年12月期の営業利益は5.6億円となり、2020年12月期の目標2.6億円を大きく上回りました。

- 商品見本帳について、主に内容の充実やアイテム数の増強に努めた結果、小口案件の取り込みが進捗致しました。
- 2018年9月期に実施した壁紙・カーテンの販売価格改定も寄与。

②スペースソリューション事業

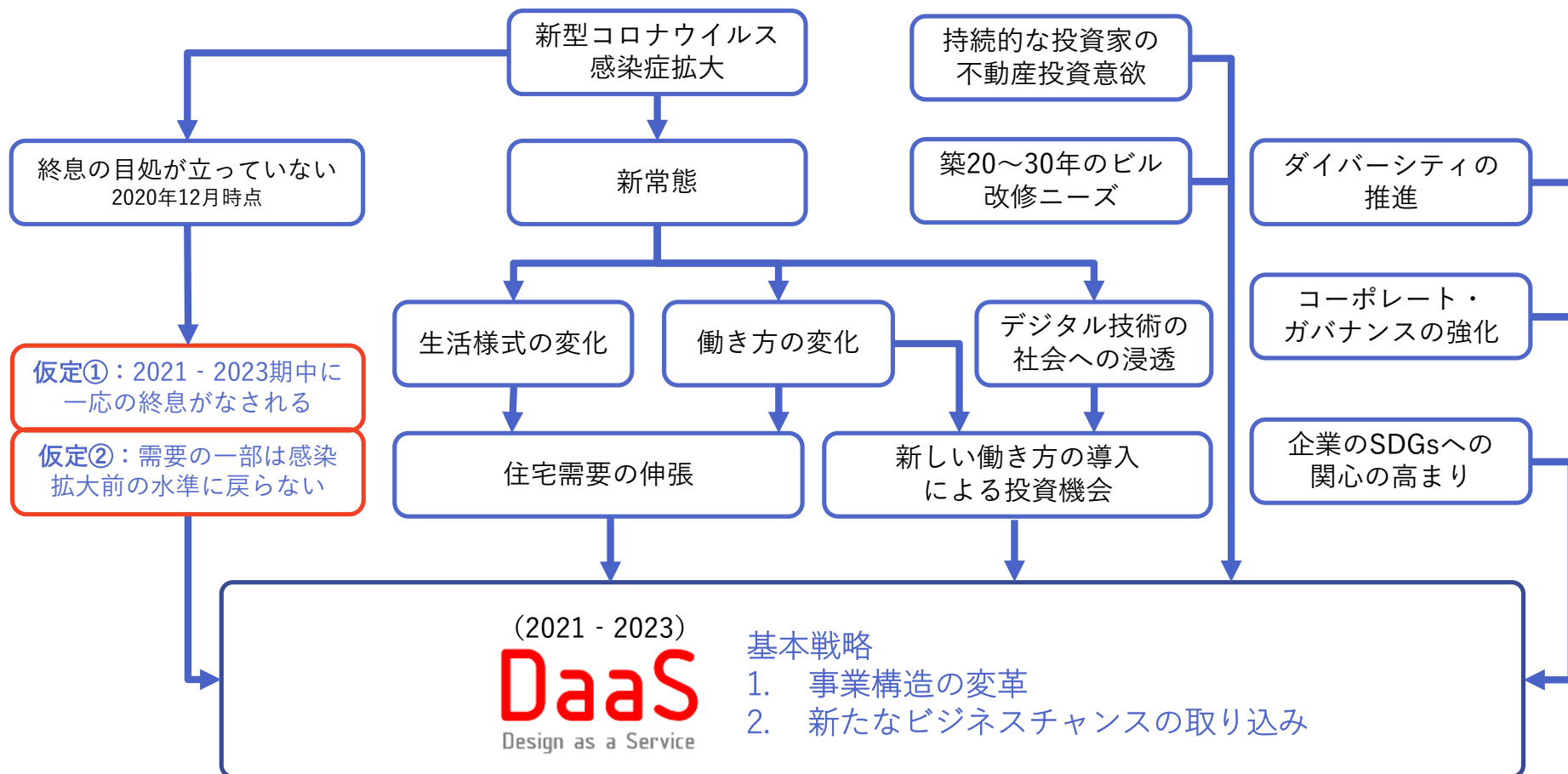
一部不採算案件が発生したことも影響し、2019年12月期の営業利益は0.9億円となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の時点でも計画値を下回る状況となりました。

- リノベーション事業分野では、建設スペシャリストの積極的な採用を図り、ホテル改修工事案件を中心としたリノベーション案件が順調に伸張致しました。
- オフィス事業分野では、顧客数の増加において計画を下回りました。



II. 2021 - 2023中期経営計画策定の事業環境

2021年 - 2023年にかけての日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の終息時期について、現時点においてははっきりとした予想を立てづらい状況にあります。当計画においては、期中に感染拡大に一応の終息が見られることを前提と致しております。一方、感染終息後も様々な変化がもたらされ、需要の一部は感染拡大前の水準に戻らないものと思われます。半面、デジタル技術の社会への浸透や、新しい生活様式の定着につれて、新たなビジネスチャンスも発生しております。



ESGへの積極的な取り組みによるガバナンスの強化とダイバーシティの推進

2021年度より、監査等委員会設置会社*へ移行し、監督と業務執行を分離し、コーポレート・ガバナンス体制のより一層の強化と経営のスピード化を図ります。

内部監査組織を拡充し、内部統制および業務監査、コンプライアンス体制の更なる強化を図ります。

中期経営計画期間中に女性取締役の登用または招聘を行います。

経営会議（執行役員）メンバーで構成される『ダイバーシティ委員会』と、その従属組織となる『ダイバーシティ推進会議』を新たに設置し、経営と従業員が一体となってダイバーシティの推進を図ります。

女性管理職者を計画的に登用し女性社員の活躍シーンを拡大します。

就業人口の減少、超高齢化社会に対応するため、外国人、障がい者、シニア層の採用を積極的に行います。

働き方の多様化に柔軟に対応するために就業規則等制度改革を積極的に推進します。

* 第80回定時株主総会にて所定の定款変更等の決議を経て決定する予定であります。

業績目標指標の改定による行動変容の促進

業績管理指標のトップラインを売上総利益および営業利益とし、従業員の利益に対する意識向上を図り、お客様により付加価値の高い製品やサービスの提供を目指します。

デジタル技術を活用した業務効率化の推進

業務のデジタル化加速と従業員のリテラシーの向上を図るために『デジタル業務推進会議』を設置し、全社横断的に、かつ段階的、計画的にDXを推進します。

データマネジメントやデータ戦略を推進します。

Eラーニングを活用した従業員教育カリキュラムを制度化し、従業員のナレッジ、スキル向上、モチベーションアップを図ります。

Eコマースや、デジタル技術を活用したソリューションビジネスの創出

これまで培った事業のノウハウをベースにデジタル技術を駆使し、Eコマースやバーチャルショールームなど新たなビジネスを創出し、デジタル時代にマッチした新しいサービスを展開します。

オフィスにおける新たな働き方を提案するために、ICTを活用した新商品・新サービスをアライアンスにより導入

インターネットを活用した商品やサービス等、ニューノーマル時代のニーズに即した提案を行います。

共創マーケティングによる商品開発の推進

商品開発において、SNSやユーザーヒヤリングを通じて初期段階からお客様の声に耳を傾け、より建設的で確かなプロセスを導入します。また、再生資源を活用した商品開発を推進します。

デザイン提案・不動産情報の提供・建物のバリューアップの提案など、付加価値提供の強化

デザイン提案力の強化に努め、ニューノーマル時代に求められる働き方やオフィスの在り方を探求し、お客様の企業価値向上に貢献できるオフィスづくりを推進します。

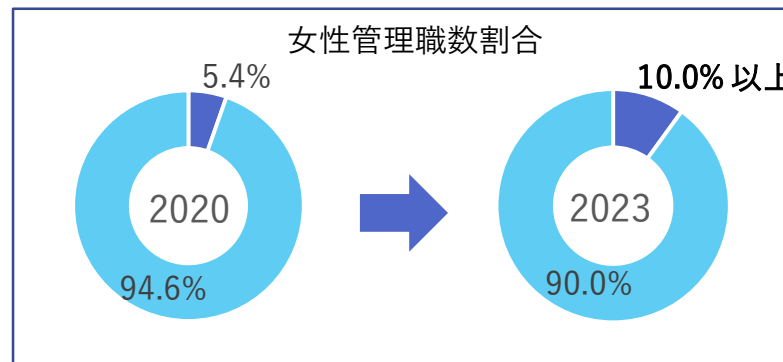
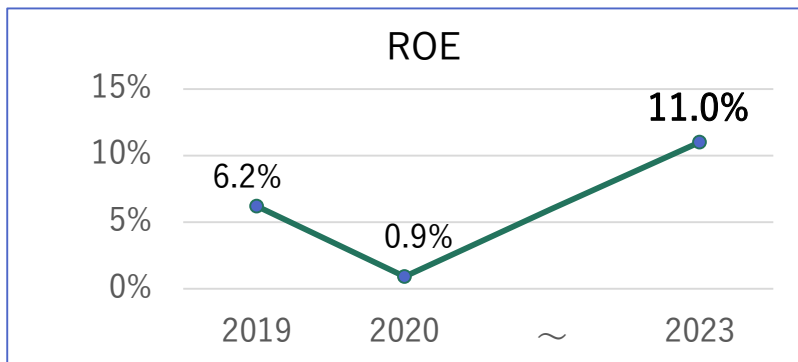
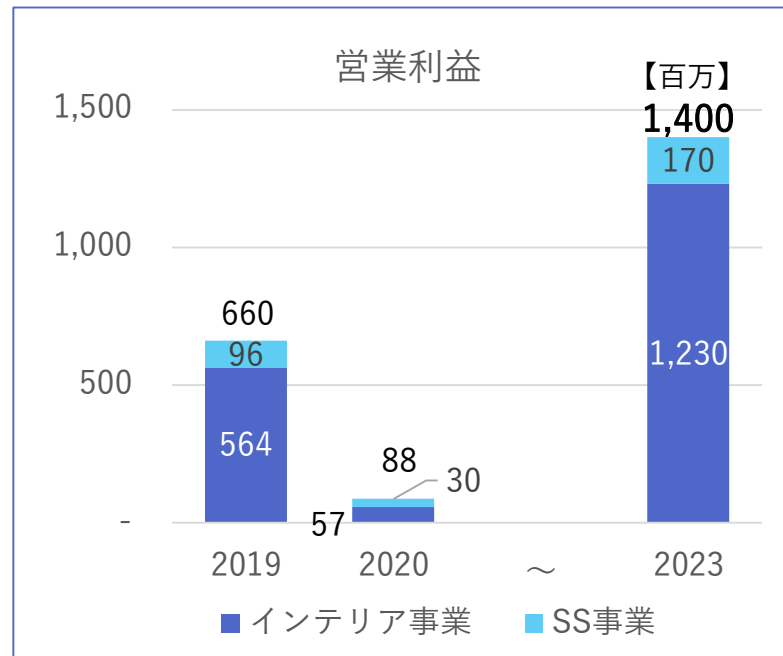
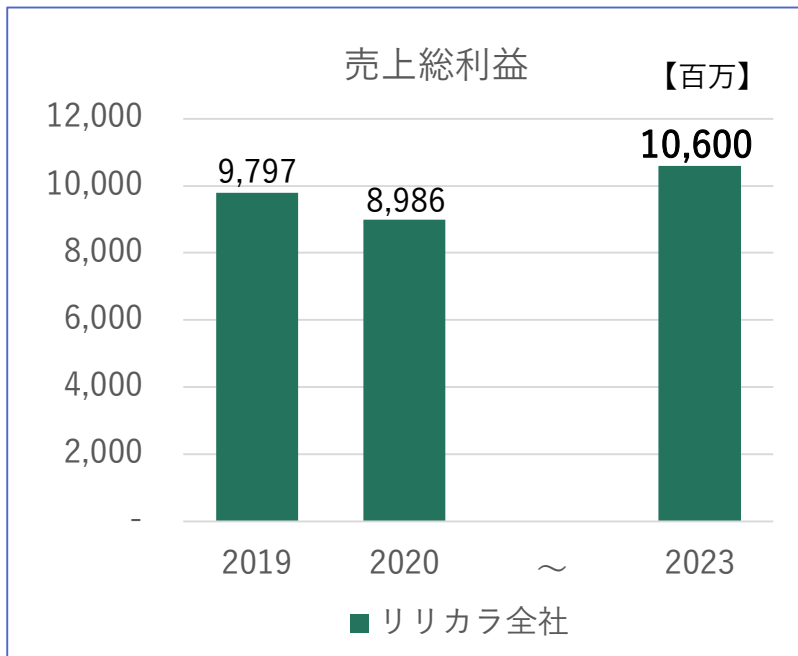
お客様が所有される不動産やパートナーから入手した不動産情報をもとにビジネスマッチングを行い不動産有効活用の提案を推進します。また、オフィスビジネスにおいては移転や増床など「物件の選定」からワンストップで高品質なサービスを提供します。

宿泊施設や商業施設など、建物を取り壊すことなく付加価値のアップや省エネルギー化を図る『バリューアップ・リノベーション』を推進します。

V. DaaS 経営目標

2021 - 2023 中期経営計画『DaaS』
経営目標：売上総利益106億円／営業利益14億円

21年及び22年度の経営目標につきましては、事業環境の変化や市場の予測が困難であることから開示を控えております。



リリカラ長期ビジョン2030

私たちは事業活動を通じてSDGsの目標達成に貢献します。

Lilycolor
DaaS
Design as a Service

